

第二部 紀 要

I 業績

1. 健康科学部門

吉川 弘明

学内委員会など

- ・ 金沢大学産業医
- ・ 金沢大学附属病院安全衛生委員会委員
- ・ 金沢大学安全衛生マネジメント委員会委員
- ・ 金沢大学感染症予防・対策委員会委員
- ・ 金沢大学学生生活部会委員
- ・ 共通教育委員会・共通教育特設プログラム（健康・自己管理）検討WG委員
- ・ 金沢大学学生支援 GP「心と体の育成による成長支援プログラム -社会に幸せをもたらす生活の知恵をもった学生の育成-」推進責任者・学生支援 GP プロジェクトメンバー（2011年3月31日まで）
- ・ タバコの指針等検討WG座長

学内での教育的活動

- ・ 共通教育科目 大学社会生活論「健康論」（前期、角間） 4クラス担当。
- ・ 共通教育科目 健康論実践「健康論実践1ー救急蘇生と安全な大学生活ー」（前期、角間） コーディネーター。1クラス。5/7.5コマ担当。
- ・ 共通教育科目「健康論実践2ー生活習慣病予防を食事から考えるー」（前期・後期、角間） コーディネーター。2クラス。1/7.5コマ担当。
- ・ 共通教育科目 健康心理学（前期、角間） 1クラス。3/15コマ担当。
- ・ 医薬保健学域医学類神経内科「神経筋接合部疾患および筋疾患」（後期、宝町） 1/15コマ担当。

学内での診療活動

- ・ 附属病院神経内科外来担当（水曜日午前）
- ・ 附属病院セカンド・オピニオン外来担当（重症筋無力症）

学内講演

- ・ 2011.2.1 第4回学生・学習支援研究会（旧共同学習会）発表者「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム（学生支援GP）の実施が本学に与えた効果についてー外部評価委員の講評をふまえてー」
- ・ 2011.4.22 金沢大学初任者研修 講師「健康管理について」
- ・ 2011.4.25、5.26 震災ボランティア講習会

学会発表

- ・ 吉川弘明、岩佐和夫、山田正仁、石田千穂、古川 裕、本崎裕子、丸田高広：重症筋無力症骨格筋における小胞体ストレスとミトコンドリア。厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 免疫性神経疾患に関する調査研究班、平成22年度 班会議、東京、2011.1.26-27
- ・ 鈴木則宏、鈴木重明、檜沢公明、長根百合子、岩佐和夫、吉川弘明：重症筋無力症における小胞体ストレス蛋白GRP94に対する自己免疫。厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 免疫性神経疾患に関する調査研究班、平成22年度 班会議、東京、2011.1.26-27
- ・ 吉川弘明、木内貴弘、齋田孝彦、高守正治：重症筋無力症におけるタクロリムスのランダム化二重盲検プラセボ対照試験の解析。第52回日本神経学会学術集会、名古屋、2011.5.18-20
- ・ 岩佐和夫、吉川弘明、古川 裕、本崎裕子、山田正仁：重症筋無力症における血清中 BiP/GRP78 蛋白濃度。第52回日本神経学会学術集会、名古屋、2011.5.18-20
- ・ 吉川弘明：教育現場における予防医療の課題と展望。全国大学保健管理協会 第49回東海・北陸地方部会研究集

会、刈谷市、2011. 7. 21-22

- ・ 足立由美・吉川弘明：大学生を対象とした心と体の系統的健康教育 2—教育方法の違いによる効果の検証— 日本教育心理学会第 53 回大会、札幌、2011. 7. 24~26
- ・ 根上昌子、丸田高広、吉川弘明、足立由美、山本達、高橋英孝：ものわずれ検診における時計描画試験の有用性。第 52 回日本人間ドック学会学術大会 大阪国際会議場 2011. 8. 25-26
- ・ 丸田高広、吉川弘明、足立由美、佐藤日出夫、柴田裕行、横地英博、坂井健二、岩佐和夫、山田正仁：MG/MS 等神経難病における能登半島地震後の心理的影響について。第 23 回日本神経免疫学会学術集会、東京、2011. 9. 15-17
- ・ 足立由美、吉川弘明、宮崎節子、田上芳美、池田美智子、亀田真紀、柿本晴美、清水美保、内山勝晴、小泉順二：きっかけづくりとチーム支援による学生相談対象の拡大。第 49 回 全国大学保健管理研究集会、下関、2011. 11. 9-10
- ・ 池田美智子、柿本晴美、高 紀子、芦原百合子、田上芳美、宮崎節子、亀田真紀、清水美保、内山勝晴、足立由美、吉川弘明、小泉順二：大学院生における留学生と日本人学生の感染症抗体検査の推移。第 49 回 全国大学保健管理研究集会、下関、2011. 11. 9-10
- ・ 池谷直樹、鈴木真理、馬場久光、鎌野 寛、大塚盛男、富樫 整、吉川弘明、山本真由美、立身政信：留学生に対する健康支援に関するアンケート調査報告（国立大学保健管理施設協議会国際交流特別委員会）。第 49 回 全国大学保健管理研究集会、下関、2011. 11. 9-10

学会における貢献

- ・ 全国大学保健管理協会 理事、評議員、機関誌「CAMPUS HEALTH」編集委員
- ・ 国立大学法人保健管理施設協議会 理事、国際交流特別委員会 副委員長、食と心身の健康に関する調査研究班班員
- ・ 日本神経学会 専門医、指導医、専門医認定委員会専門委員、第 53 回日本神経学会学術大会年次学術委員会委員、重症筋無力症診療ガイドライン作成委員会委員
- ・ 日本神経免疫学会 評議員、日本神経免疫学会新規治療・保険委員会委員
- ・ 日本神経治療学会 評議員
- ・ 全国大学メンタルヘルス研究会 会員
- ・ 日本内科学会 認定医
- ・ 日本健康心理学会 会員
- ・ 日本神経心理学会 会員
- ・ 日本感染症学会 会員
- ・ 日本臨床薬理学会 会員
- ・ 日本産業衛生学会 会員
- ・ 日本公衆衛生学会 会員
- ・ 米国大学保健管理学会 (American College Health Association) 会員
- ・ 米国神経学会 (American Academy of Neurology) 会員

学会論文査読

- ・ 2011 (平成 23) 年 英文雑 4 編 和文誌 4 編

研究助成等

- ・ 文部科学省・日本学術振興会・科学研究費 基盤研究 (C) (一般)「損傷神経に誘導される新規蛋白がイオンチャネル活動調節・痛み情報伝達に果たす役割」分担研究者 (主任研究者：横山 茂) (平成 21 年-23 年)
- ・ 厚生労働省・難治性疾患対策研究事業「免疫性神経疾患に関する研究」班・分担研究者
- ・ NIH/NINDS MGTX study, Principal Investigator of Kanazawa University

論文・報告書等

(報告書)

- ・ 田上芳美、宮崎節子、池田美智子、柿本晴美、芦原百合子、高紀子、亀田真紀、高信雅子、生田聡美、小畑公未子、吉川弘明、内山勝晴、清水美保、足立由美、鈴木健一、小泉順二：学生定期健康診断における早期尿検査導入の効果について 全国大学保健管理協会 CAMPUS HEALTH Vol. 48 No. 1 pp. 229-230 2011. 2

- 宮崎節子、田上芳美、池田美智子、柿本晴美、芦原百合子、高紀子、亀田真紀、吉川弘明、内山勝晴、清水美保、足立由美、鈴木健一、小泉順二：金沢大学における感染症対策5年間の推移—新入生に対する麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、水痘の抗体検査と予防接種勧奨— 全国大学保健管理協会 CAMPUS HEALTH Vol. 48 No.1 pp.239-240 2011.2
- 足立由美、吉川弘明、生田聡美、高信雅子、宮崎節子、田上芳美、池田美智子、亀田真紀、柿本晴美、清水美保、内山勝晴、鈴木健一、小泉順二：健康教育 GP から生まれた学生グループに関する分析 全国大学保健管理協会 CAMPUS HEALTH Vol. 48 No.1 pp. 430-431 2011.2
- 吉川弘明、岩佐和夫、山田正仁、石田千穂、古川 裕、本崎裕子、丸田高広：重症筋無力症骨格筋における小胞体ストレスとミトコンドリア。厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 免疫性神経疾患に関する調査研究 平成22年度総括・分担研究報告書、pp150-151, 2011.3
- 吉川弘明：厚生労働省科学研究費補助金（難治性疾患克服事業） 免疫性神経疾患に関する調査研究 平成20年度～22年度 総合研究報告書、pp149-153, 2011.3
- 吉川弘明：心と体の育成による成長支援プログラム（活動報告） 平成22年度全国学生指導担当教職員研修会報告書 pp37-46, 2011.3
- 鈴木則宏、鈴木重明、槍沢公明、長根百合子、岩佐和夫、吉川弘明：重症筋無力症における小胞体ストレス蛋白GRP94に対する自己免疫。厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 免疫性神経疾患に関する調査研究 平成22年度総括・分担研究報告書、pp148-149, 2011.3

(論文)

- Yoshikawa H, Kiuchi T, Saida T, Takamori M. Randomised, double-blind, placebo-controlled study of tacrolimus in myasthenia gravis. J Neurol Neurosurg Psychiatry. 2011 Sep;82(9):970-7. Epub 2011 Jul 22. Erratum in: J Neurol Neurosurg Psychiatry. 2011 Oct;82(10):1180. PubMed PMID: 21784757.
- Imai T, Tsuda E, Toyoshima T, Yoshikawa H, Motomura M, Shimohama S. Anti-ryanodine receptor-positive acetylcholine receptor-negative myasthenia gravis: evidence of impaired excitation-contraction coupling. Muscle Nerve. 2011 Feb;43(2):294-5. doi: 10.1002/mus.21887. PubMed PMID: 21254099.
- Suzuki S, Utsugisawa K, Iwasa K, Satoh T, Nagane Y, Yoshikawa H, Kuwana M, Suzuki N. Autoimmunity to endoplasmic reticulum chaperone GRP94 in myasthenia gravis. J Neuroimmunol. 2011 Aug 15;237(1-2):87-92. Epub 2011 Jul 20. PubMed PMID: 21774995.
- Murai H, Yamashita N, Watanabe M, Nomura Y, Motomura M, Yoshikawa H, Nakamura Y, Kawaguchi N, Onodera H, Araga S, Isobe N, Nagai M, Kira J. Characteristics of myasthenia gravis according to onset-age: Japanese nationwide survey. J Neurol Sci. 2011 Jun 15;305(1-2):97-102. Epub 2011 Mar 26.
- 亀田真紀、吉川弘明、中村裕之、宮崎節子、田上芳美、内山勝晴、清水美保、小泉順二：金沢大学における新型インフルエンザ (H1N1) の発症状況についての考察 -学部学生の発症状況と特徴について- CAMPUS HEALTH, 48(2), 169-173, 2011
- 吉川弘明：American College Health Association (ACHA) 2010 Annual Meeting に参加して CAMPUS HEALTH, 48(2), 223-227, 2011
- 吉川弘明、岩佐和夫、高守正治：重症筋無力症治療の現状と展望-胸腺手術の観点から Brain and Nerve 63(7): 729-736, 2011

(教科書執筆)

- 吉川弘明：健康論-健康生活のすすめ 金沢大学「大学・社会生活論」テキスト編集会議（編）知的キャンパスライフのすすめ-スタディ・スキルズから自己開発へ- 第2版（改訂） 学術図書出版社、東京、pp123-130, 2011
- 吉川弘明：頭痛・めまい 国立大学法人保健管理施設協議会（監修）新版 学生と健康-若者のためのヘルスリテラシー- 南江堂、東京、pp128-131

学外講演

- 吉川弘明 心と体の育成による成長支援プログラム -社会に幸せをもたらす生活の知恵を持った学生の育成- 産業医科大学医学部 学生支援 GP フォーラム 北九州市 2011.12.17

学外における社会貢献活動

- ・ 厚生労働省・難治性疾患対策研究事業「免疫性神経疾患に関する研究」班・分担研究者
- ・ 日本多発性硬化症協会 医学顧問
- ・ Mayo Neuroscience Forum 幹事
- ・ 2011.8.25 教員免許状更新講習 選択講座「学校保健に必要な知識のワクチン-2011」 講習責任者
- ・ 2011.3.4 田上新町餅つき大会への協力（学生クルーの指導）
- ・ 2011.8.6 田上新町夏祭りへの協力（学生クルーの指導）

特許

- ・ 特許公開 2011-173793、特許出願 2010-036739、出願日 2010.2.23、出願者：金沢大学、発明者：横山茂、丸田高広、吉川弘明、発明内容；アセチルコリン受容体クラスター形成阻害活性を有するアグリンを特異的に認識する抗体並びに該抗体を含むアセチルコリン受容体クラスター形成能促進剤及び該抗体を充填したアセチルコリン受容体クラスター形成能を阻害するアグリン除去カラム
- ・ 特許公開 2011-173794、特許出願 2010-036740、出願日 2010.2.23、出願者：金沢大学、発明者：角弘論、根上昌子、丸田高広、吉川弘明、発明内容；アセチルコリン受容体クラスター形成阻害剤
- ・ 特許公開 2011-174707、特許出願 2010-036741、出願日 2010.2.23、出願者：金沢大学、発明者：角弘論、根上昌子、丸田高広、吉川弘明、発明内容；心筋障害の検査方法
- ・ 特許公開 2011-189081、特許出願 2010-059913、出願日 2010.3.16、出願者：金沢大学、発明者：角弘論、根上昌子、丸田高広、吉川弘明、発明内容；脳波表示装置、脳波表示方法、及びプログラム
- ・ 特許公開 2011-244971、特許出願 2010-119997、出願日 2010.5.26、出願者：金沢大学、発明者：角弘論、根上昌子、丸田高広、吉川弘明、発明内容；レビー小体型認知症の判定方法、判定装置並びにプログラム

足立 由美

学内委員会など

- ・ 学生相談連絡会委員
- ・ 共通教育委員会 教務・学生委員会委員
- ・ 共通教育委員会・共通教育特設プログラム（健康・自己管理）検討WG委員
- ・ 障害学生支援委員会委員（2011年4月～）
- ・ 学生サポートガイドブック編集委員会委員
- ・ きいつけまっし編集委員会委員
- ・ 発達障害のある学生サポートブック編集委員会委員
- ・ ピア・サポート・ルーム専門スーパーバイザー
- ・ なんでも相談室相談員
- ・ ハラスメント相談員（助言者）
- ・ 金沢大学学生支援GP「心と体の育成による成長支援プログラムー社会に幸せをもたらす生活の知恵をもった学生の育成ー」推進副責任者・学生支援GPプロジェクトメンバー（～2011年3月）
- ・ 平成21年度社会技術研究開発事業研究開発プログラム「科学技術と社会の相互作用」による研究開発プロジェクト「自閉症にやさしい社会：共生と治療の調和の模索」の大学生早期発見・治療・支援研究グループメンバー（2011年4月～）

学内での教育的活動

- ・ 「健康論」（共通教育「大学・社会生活論」・前期）5クラス、1/15コマ担当。
- ・ 「健康論実践1ー救急蘇生と安全な大学生活ー」（共通教育・前期）コーディネーター。1クラス。
- ・ 「健康論実践2ー生活習慣病予防を食事から考えるー」（共通教育・前期・後期）コーディネーター。2クラス、「食事と心の健康」1/7.5コマ担当。
- ・ 「健康論実践3ー自己発見のためのグループワークー」（共通教育・前期）コーディネーター。1クラス、7.5/7.5

コマ担当。

- ・ 「健康心理学」(共通教育・前期)コーディネーター。1クラス、15/15 コマ担当。
- ・ 「日本文化演習 I」(日本語・日本文化研修プログラム:留学生対象)1クラス、「健康志向と自己意識」1/15 コマ担当。
- ・ 2011.4.27 ランチョンセミナー「ピア・サポートの紹介」
- ・ 2011.4.28 ランチョンセミナー「学生クルー活動の紹介ー学生クルーメンバー募集中!ー」

学内講演

- ・ 2011.2.1 第4回学生・学習支援研究会(旧共同学習会)発表者「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム(学生支援GP)の実施が本学に与えた効果についてー外部評価委員の講評をふまえてー」
- ・ 2011.3.31 平成23年度第1回学生相談研修会 講師「相談を受けるときの基本的な態度について」
- ・ 2011.4.19 金沢大学新任教員FD研修会 講師「学生の心のケアおよび学生相談について」
- ・ 2011.4.22 金沢大学初任者研修 講師「健康管理についてーメンタルヘルスを維持するためにー」
- ・ 2011.6.28 学生相談連絡会主催事例勉強会 講師「不登校・引きこもりの学生についての事例勉強会」
- ・ 2011.8.1 ハラスメント相談研修会 講師「傾聴について」

学会発表

- ・ 足立由美:金沢大学の事例(分科会 2-3 学内支援体制の確立に向けて) 平成22年度学生の心の悩みに関する教職員研修会・第44回全国学生相談研究会議 於 東京国際交流館プラザ平成 2011.1.26~28
- ・ 足立由美・吉川弘明:大学生を対象とした心と体の系統的健康教育2ー教育方法の違いによる効果の検証ー 日本教育心理学会第53回大会 於 かでる2・7(札幌) 2011.7.24~26
- ・ 根上昌子、丸田高広、吉川弘明、足立由美、山本達、高橋英孝:ものわずれ検診における時計描画試験の有用性 第52回日本人間ドック学会学術大会 於 大阪国際会議場 2011.8.25~26
- ・ 足立由美:香りを用いた体験学習による健康教育の効果(会員企画シンポジウム「香り」の効果への健康心理学的アプローチ) 日本健康心理学会第24回大会 於 早稲田大学国際会議場 2011.9.11~12
- ・ 丸田高広、吉川弘明、足立由美、佐藤日出夫、柴田裕行、横地英博、坂井健二、岩佐和夫、山田正仁:MG/MS等神経難病における能登半島地震後の心理的影響について 第23回日本神経免疫学会学術集会 東京 2011.9.15~17
- ・ 足立由美、吉川弘明、宮崎節子、田上芳美、池田美智子、亀田真紀、柿本晴美、清水美保、内山勝晴、小泉順二:きっかけづくりとチーム支援による学生相談対象の拡大 第49回全国大学保健管理研究集会 於 海峡メッセ下関(山口大学) 2011.11.9~10
- ・ 池田美智子、柿本晴美、高紀子、芦原百合子、田上芳美、宮崎節子、亀田真紀、清水美保、内山勝晴、足立由美、吉川弘明、小泉順二:大学院生における留学生と日本人学生の感染症抗体検査の推移 第49回全国大学保健管理研究集会、於 海峡メッセ下関(山口大学)、2011.11.9~10

学会における貢献

- ・ 日本学生相談学会会員
- ・ 日本心理臨床学会会員
- ・ 日本健康心理学会会員
- ・ 日本教育心理学会会員
- ・ 日本公衆衛生学会会員
- ・ 米国大学保健管理学会(American College Health Association) 会員
- ・ 平成23年度東海・北陸地区メンタルヘルス研究協議会実行委員会委員
- ・ 石川県臨床心理士会 会計(2011年4月~)

研究助成等

- ・ 文部科学省・日本学術振興会・科学研究費 若手研究(B)「大学生に対する心と体の統合的成長支援プログラムの実証的研究」(平成21-24年度)主任研究者

論文・報告書等

(報告書)

- ・ 足立由美、吉川弘明、生田聡美、高信雅子、宮崎節子、田上芳美、池田美智子、亀田真紀、柿本晴美、清水美保、内山勝晴、鈴木健一、小泉順二：健康教育 GP から生まれた学生グループに関する分析 全国大学保健管理協会 CAMPUS HEALTH Vol. 48 No.1 pp. 430-431 2011.2
- ・ 田上芳美、宮崎節子、池田美智子、柿本晴美、芦原百合子、高紀子、亀田真紀、高信雅子、生田聡美、小畑公未子、吉川弘明、内山勝晴、清水美保、足立由美、鈴木健一、小泉順二：学生定期健康診断における早期尿検査導入の効果について 全国大学保健管理協会 CAMPUS HEALTH Vol. 48 No.1 pp.229-230 2011.2
- ・ 宮崎節子、田上芳美、池田美智子、柿本晴美、芦原百合子、高紀子、亀田真紀、吉川弘明、内山勝晴、清水美保、足立由美、鈴木健一、小泉順二：金沢大学における感染症対策5年間の推移—新入生に対する麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、水痘の抗体検査と予防接種勧奨— 全国大学保健管理協会 CAMPUS HEALTH Vol. 48 No.1 pp.239-240 2011.2
- ・ 足立由美：金沢大学の事例（2-3 学内支援体制の確立に向けて）平成22年度学生の心の悩みに関する教職員研修会・第44回全国学生相談研究会議報告書 pp. 25-28 2011.3

(論文)

- ・ 足立由美：「心と体の育成による成長支援プログラム」による留学生支援 金沢大学保健管理センター 金沢大学保健管理センター年報紀要 No.3 pp.89-93 2011.3

学外講演

- ・ 2011.7.8 大学コンソーシアム石川 FD・SD研修会講師「大学における、発達障害が疑われる学生への支援」於 しいのき迎賓館
- ・ 2011.9.8-9.9 東海・北陸地区メンタルヘルス研究協議会講師「第一分科会 学生のための聴き方」於 アオッサ(福井)
- ・ 2011.9.15 金沢学院大学短期大学FD研修会講師「学生相談の連携と協働—ネットワーク支援の事例—」
- ・ 2011.12.3 第23回地域リハビリテーションフォーラム講演「障がいの意味と理解—学生へのサポートの立場から—」、シンポジウム助言者「それぞれの支援の経験から今思うこと」於 富山県総合福祉会館(サンシップとやま)

学外における社会貢献活動

- ・ 2011.3.4 田上新町餅つき大会への協力(学生クルーの指導)
- ・ 2011.6.21 大学門前町推進協議会勉強会に出席 於 田上公民館
- ・ 2011.8.6 田上新町夏祭りへの協力(学生クルーの指導)
- ・ 2011.8.25 教員免許状更新講習「学校保健に必要な知識のワクチン—2011」講師(学校におけるメンタルヘルスケアと食育)1/6コマ担当
- ・ 2011.9.1 金沢市自殺防止対策ネットワーク会議に出席
- ・ 大阪芸術大学短期大学部通信教育部非常勤講師「保育・教育の心理学」担当

内山 勝晴

学内委員会など

- ・ 金沢大学産業医
- ・ 金沢大学角間地区安全衛生委員会委員
- ・ 金沢大学安全衛生マネジメント委員会委員
- ・ 金沢大学禁煙推進ワーキング・グループ委員

学内での教育的活動

- ・ 共通教育科目 大学社会生活論「健康論」(前期、角間) 3コマ担当。
- ・ 医学部循環器内科系統講義「心臓弁膜症」(前期、宝町) 1コマ担当。

学内での診療活動

- ・ 金沢大学附属病院循環器内科 初診・再診外来担当(火曜日午前)

- ・ 金沢大学循環器内科 2 虚血性心疾患カテーテル治療主任

学内講演

- ・ 2011.6月下旬 熱中症対策および心肺蘇生/AED講習会(体育会系サークル対象)2回担当
- ・ 2011.9.7 AED使用講習会(薬学部・がん研究所教職員対象)

学会発表

- ・ Katsuharu Uchiyama, Hidekazu Ino, Kensuke Fujioka, Shu Takabatake, Junichiro Yokawa, Masakazu Yamagishi: Impact of Type 2 Diabetes on Clinical Outcome After Drug Eluting Stent Implantation in Severe Coronary Disease: Evidence from Consecutive 9392 Case Analyses. 第75回日本循環器学会総会・学術集会 一般口述「Coronary Revascularization, PCI (Complex Lesions) 2」 於パシフィコ横浜 2011.8.3~4
- ・ Gaku Oishi, Katsuharu Uchiyama, Kensuke Fujioka, Shu Takabatake, Junichiro Yokawa, Hidekazu Ino, Masakazu Yamagishi. Impact of Lesion Unstability on Clinical Outcome After Drug Eluting Stent Implantation: Results from HERZ Study. 第75回日本循環器学会総会・学術集会 ポスター発表「Coronary Revascularization, ACS」 於パシフィコ横浜 2011.8.3~4
- ・ Shu Takabatake, Katsuharu Uchiyama, Nobuo Ukawa, Gaku Oishi, Satoaki Hachiya, Chikara Fujita, Tadatsugu Gamou, Toyonobu Tsuda, Hayato Tada, Chiaki Nakanishi, Akihiko Hodatsu, Mika Mori, Toshinari Tsubokawa, Tetsuo Konno, Kenshi Hayashi, Masa-aki Kawashiri, Noboru Fujino, Hidekazu Ino, Masakazu Yamagishi. Impact of Lesion Configuration on Clinical Outcome After Drug Eluting Stent Implantation in Left Main Coronary Artery Disease. 第75回日本循環器学会総会・学術集会 ポスター発表「Coronary Revascularization, LMT」 於パシフィコ横浜 2011.8.3~4
- ・ 内山勝晴、井野秀一、林 研至、今野哲雄、坪川俊成、高島 周、藤岡研佐、余川順一郎、名村正伸、水野清雄、金谷法忍、多々見良三、新田 裕、道下一郎、平瀬裕章、山口正人、上田幸生、桶家一恭、原城達夫、荒木 勉、森 清男、源 雅弘、追分久憲、山岸正和。2型糖尿病がDrug Eluting StentとBare Metal Stentの臨床的転帰に及ぼす影響；多施設共同研究からの解析。第59回日本心臓病学会学術集会 パネルディスカッション5「糖尿病と心血管疾患」 於神戸国際会議場、神戸ポートピアホテル 2011.9.23~25

学会における貢献

- ・ 日本内科学会
- ・ 日本循環器学会
- ・ 日本心臓病学会
- ・ 日本心血管インターベンション治療学会
- ・ 日本不整脈学会

論文・報告書等

(論文)

- ・ Hayashi K, Fujino N, Ino H, Uchiyama K, Sakata K, Konno T, Masuta E, Funada A, Sakamoto Y, Tsubokawa T, Hodatsu A, Yasuda T, Kanaya H, Kim MY, Kupersmidt S, Higashida H, Yamagishi M. A KCRI variant implicated in susceptibility to the long QT syndrome. *J Mol Cell Cardiol* 2011; 50: 50-7
- ・ Tada H, Kawashiri MA, Sakata K, Takabatake S, Tsubokawa T, Konno T, Hayashi K, Uchiyama K, Ino H, Yamagishi M. Impact of out-stent plaque volume on in-stent intimal hyperplasia: Results from serial volumetric analysis with high-gain intravascular ultrasound. *Int J Cardiol.* 2011 Feb 17[Epub ahead of print]
- ・ Demura M, Wang F, Yoneda T, Karashima S, Mori S, Oe M, Kometani M, Sawamura T, Cheng Y, Maeda Y, Namiki M, Ino H, Fujino N, Uchiyama K, Tsubokawa T, Yamagishi M, Nakamura Y, Ono K, Sasano H, Demura Y, Takeda Y. Multiple noncoding exons 1 of nuclear receptors NR4A family (nerve growth factor-induced clone B, Nur-related factor 1 and neuron-derived orphan receptor 1) and NR5A1 (steroidogenic factor 1) in human cardiovascular and adrenal tissues. *J Hypertens.* 2011; 29: 1185-95
- ・ Uchiyama K, Ino H, Hayashi K, Fujioka K, Takabatake S, Yokawa J, Namura M, Mizuno S, Tatami R, Kanaya H, Nitta Y, Michishita I, Hirase H, Ueda K, Aoyama T, Okeie K, Haraki T, Mori K, Araki T, Minamoto M, Oiwake

H, Konno T, Sakata K, Kawashiri M, Yamagishi M. Impact of severe coronary disease associated or not associated with diabetes mellitus on outcome of interventional treatment using stents: results from HERZ (Heart Research Group of Kanazawa) analyses. J Int Med Res. 2011; 39: 549-57

- Tada H, Tsubokawa T, Konno T, Hayashi K, Uchiyama K, Kawashiri MA, Tomita S, Ino H, Watanabe G, Yamagishi M. Impact of bilateral internal thoracic-to-epigastric artery communications on salvaging total lower limb ischemia. J Am Coll Cardiol. 2011; 58: 654

(著書)

- 内山勝晴、山岸正和 (分担執筆); 不安定狭心症 循環器疾患最新の治療 2012-2013 南江堂 (in press)

学外講演

- 2011.3.11-12 KCC Live demonstration Local Faculty & Live Commentator

学外における社会貢献活動

- 2011.3.23-24 筑波大学からの診療支援要請を受けた東日本大震災復興支援活動 (於茨城県北部)
- 2011.8.25 教員免許状更新講習「学校保健に必要な知識のワクチン」講師 (救急蘇生と熱中症対策について) 1/6 コマ担当
- 北陸中央病院 循環器外来担当 (月曜日午後)

特許

- [特許出願 2011-146912] 内山勝晴、山岸正和: 医療用ガイドカテーテル

清水 美保

学内委員会など

- 金沢大学産業医
- 金沢大学宝町・鶴町地区事業場安全衛生委員会委員
- 金沢大学平和町地区事業場安全衛生委員会委員
- 金沢大学安全衛生マネジメント委員会委員
- 金沢大学微生物等安全管理委員会委員

学内での教育的活動

- 共通教育科目 大学社会生活論「健康論」(前期、角間) 1 コマ担当
- 医学部腎臓内科系統講義「膠原病と腎疾患、間質性腎障害」(後期、宝町) 1 コマ担当

学内での診療活動

- 附属病院血液浄化療法部担当 (月曜、水曜午前、金曜)

学内講演

- 2011.6.29、6.30 救急講習会「救急蘇生法と熱中症対策 (AED の使い方を含めて)」

学会発表

- 清水美保、黒川幸枝、遠山直志、原章規、北川清樹、古市賢吾、和田隆志: 当科における2型糖尿病性腎症の臨床病理学的検討、第54回日本糖尿病学会年次学術集会、札幌、2011.5.20
- 清水美保、篠崎康之、北島信治、遠山直志、原章規、北川清樹、古市賢吾、横山仁、和田隆志: 糖尿病性腎症と診断した、尿蛋白陰性の2型糖尿病例に関する臨床病理学的検討、第54回日本腎臓学会学術総会、横浜、2011.6.15
- 清水美保、遠山直志、古市賢吾、伊勢拓之、吉村光弘、木田寛、和田隆志: 腎病理から見た糖尿病性腎症の臨床病態、第36回北陸臨床病理集談会・第19回同セミナー、金沢、2011.9.10
- 清水美保、遠山直志、原章規、北川清樹、古市賢吾、吉村光弘、木田寛、横山仁、和田隆志: 腎病理からみた糖尿病性腎症の臨床病態、第23回日本糖尿病性腎症研究会、東京、2011.12.3
- 共同演者 12題

学会における貢献

- ・ 日本内科学会 認定医、専門医
- ・ 日本腎臓学会 専門医
- ・ 日本透析医学会 専門医
- ・ 日本アフェレシス学会 専門医
- ・ 日本リウマチ学会 専門医
- ・ 日本病態栄養学会 会員

論文・報告書等

(論文)

- ・ Furuichi K, Hisada Y, Shimizu M, Okumura T, Kitagawa K, Yoshimoto K, Iwata Y, Yokoyama H, Kaneko S, Wada T: Matrix metalloproteinase-2 (MMP-2) and membrane-type 1 MMP (MT1-MMP) affect the remodeling of glomerulosclerosis in diabetic OLETF rats. *Nephrol Dial Transplant*. 2011 Oct; 26(10): 3124-3131
- ・ Wada T, Shimizu M, Toyama T, Hara A, Kaneko S, Furuichi K: Clinical impact of albuminuria in diabetic nephropathy. *Clin Exp Nephrol*. 2011 Aug 10 (published online)

(総説)

- ・ 清水美保、和田隆志: 糖尿病性腎症とCKD—新たな展開と治療法の選択— 2. 糖尿病性腎症病期分類とCKDステージ分類、月刊糖尿病 2011年7月号、24-31

学外講演

- ・ 2011.9.18 CKDの指導に必要な病態理解・生活指導の基本、石川腎不全看護研究会、金沢

中林 肇 (研究協力員)

学内委員会など

- ・ 環日本海環境研究センター 連携研究員

学会発表

- ・ Iwasaki, Y., Nakabayashi, H., Kakei, M. and Yada, T.: Insulin elevates cytosolic Ca²⁺ concentration in isolated nodose ganglion neurons via the insulin receptor signaling. Society for Neuroscience (Washington, D.C., USA), 演題番号 395.17, 2011.11.12-16, ポスター, 査読有.
- ・ 岩崎有作、中林肇、加計正文、矢田俊彦: インスリンの求心性迷走神経への直接作用、自然科学研究機構生理学研究所研究会「中枢・末梢臓器連関による生体恒常性と仲介分子機構」(愛知)、演題番号 2 日目 No. 3、2011.2.18-19、口演。
- ・ 岩崎有作、中林肇、加計正文、矢田俊彦: インスリンによるインスリン受容体カスケードを介した求心性迷走神経細胞 Ca²⁺シグナリング、第 88 回日本生理学会大会第 116 回日本解剖学会総会・全国学術集会合同大会 (神奈川)、演題番号 P1-216、2011.3.28-30.、ポスター。
- ・ 岩崎有作、中林肇、加計正文、清水弘行、森昌朋、矢田俊彦: 新規摂食抑制ペプチド Nesfatin-1 による求心性迷走神経ニューロンの活性化、第 65 回日本栄養・食糧学会大会 (東京)、演題番号 30-01a、2011.5.13-15、口演。
- ・ 岩崎有作、中林肇、加計正文、矢田俊彦: インスリンの求心性迷走神経への直接作用とグレリン、GLP-1 との相互作用、第 32 回日本肥満学会 (兵庫)、演題番号 YIA-3、2011.9.23-24、口演、Young Investigator Award 受賞。
- ・ 岩崎有作、加計正文、中林肇、矢田俊彦: 求心性迷走神経へのインスリン作用の GLP-1 による増強とグレリンによる抑制、第 39 回自律神経生理研究会 (東京)、演題番号 13、2011.12.3、口演。

学会における貢献

- ・ 日本糖尿病学会 学術評議員 専門医 研修指導医
- ・ 日本内分泌学会 功労代議員 専門医
- ・ 日本神経内分泌学会 功労評議員
- ・ 日本内科学会 認定医
- ・ 米国糖尿病学会 会員

- ・ 米国内分泌学会 会員

論文・報告書等

(エッセイ)

- ・ Nakabayashi H. :The neural chemoreception of gut hormones and its role in nutrient homeostasis: A humoral and neural cross-talk between the gut and the pancreas. International Review of Diabetes. 3(1): 58-61, 2011

学外における社会貢献活動

- ・ 石川県立中央病院 倫理委員会委員
- ・ 石川県立看護大学 非常勤講師

丸田 高広 (協力研究員)

学会発表

- ・ 吉川弘明、岩佐和夫、山田正仁、石田千穂、古川 裕、本崎裕子、丸田高広：重症筋無力症骨格筋における小胞体ストレスとミトコンドリア。厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 免疫性神経疾患に関する調査研究班、平成 22 年度 班会議、東京、2011. 1. 26-27
- ・ 根上昌子、丸田高広、神野正博：認知症健診における自律神経検査の有用性について。第 39 回日本総合健診医学会、東京、2011. 1. 28-29.
- ・ 根上昌子、丸田高広：ものわすれ検診における時計描写試験の有用性。第 20 回日本脳ドック学会、東京、2011. 6. 7-8.
- ・ 根上昌子、丸田高広、吉川弘明、足立由美、山本達、高橋英孝：ものわすれ検診における時計描画試験の有用性。第 52 回日本人間ドック学会学術大会、大阪、2011. 8. 25-26.
- ・ 丸田高広、吉川弘明、足立由美、佐藤日出夫、柴田裕行、横地英博、坂井健二、岩佐和夫、山田正仁：MG/MS 等神経難病における能登半島地震後の心理的影響について。第 23 回日本神経免疫学会学術集会、東京、2011. 9. 15-17.

学会における貢献

- ・ 日本神経免疫学会 評議員
- ・ 日本神経学会 専門医・指導医・東海北陸地方会幹事
- ・ 日本認知症学会 専門医・指導医
- ・ 日本人間ドック学会 専門医
- ・ 日本内科学会 認定医
- ・ 日本神経治療学会 会員
- ・ 日本臨床神経生理学会 会員
- ・ 日本自律神経学会 会員
- ・ 日本脳ドック学会 会員

論文・報告書等

(報告書)

- ・ 吉川弘明、岩佐和夫、山田正仁、石田千穂、古川 裕、本崎裕子、丸田高広：重症筋無力症骨格筋における小胞体ストレスとミトコンドリア。厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 免疫性神経疾患に関する調査研究 平成 22 年度総括・分担研究報告書、pp150-151, 2011. 3

学外講演

- ・ 2011. 2. 25 金沢大学地域連携推進センター 市町共催講座「認知症について」講師、金沢市。
- ・ 2011. 3. 5 石川県医師会 認知症全体研修会 講師、金沢市。
- ・ 2011. 4. 22 金沢市薬剤師会 学術講演会「認知症の診断と治療」講師、金沢市。
- ・ 2011. 11. 8 金沢市老人連合会 公開講座「持病を持つ方の災害対策」講師、金沢市。
- ・ 金沢・市民の健康を守る会 公開講座「認知症について」講師、年間を通じて多数回開催、金沢市。

学外における社会貢献活動

- ・ 金沢市お年寄り介護福祉支援センター「えきにしほんまち」 認知症教室

特許

- ・ 特許公開 2011-173793、特許出願 2010-036739、出願日 2010. 2. 23、出願者：金沢大学、発明者：横山茂、丸田高広、吉川弘明、発明内容；アセチルコリン受容体クラスター形成阻害活性を有するアグリンを特異的に認識する抗体並びに該抗体を含むアセチルコリン受容体クラスター形成能促進剤及び該抗体を充填したアセチルコリン受容体クラスター形成能を阻害するアグリン除去カラム
- ・ 特許公開 2011-173794、特許出願 2010-036740、出願日 2010. 2. 23、出願者：金沢大学、発明者：角弘諭、根上昌子、丸田高広、吉川弘明、発明内容；アセチルコリン受容体クラスター形成阻害剤
- ・ 特許公開 2011-174707、特許出願 2010-036741、出願日 2010. 2. 23、出願者：金沢大学、発明者：角弘諭、根上昌子、丸田高広、吉川弘明、発明内容；心筋障害の検査方法
- ・ 特許公開 2011-189081、特許出願 2010-059913、出願日 2010. 3. 16、出願者：金沢大学、発明者：角弘諭、根上昌子、丸田高広、吉川弘明、発明内容；脳波表示装置、脳波表示方法、及びプログラム
- ・ 特許公開 2011-244971、特許出願 2010-119997、出願日 2010. 5. 26、出願者：金沢大学、発明者：角弘諭、根上昌子、丸田高広、吉川弘明、発明内容；レビー小体型認知症の判定方法、判定装置並びにプログラム

根上 昌子（研究協力員）

学会発表

- ・ 根上昌子、丸田高広、神野正博：認知症健診における自律神経検査の有用性について。第 39 回日本総合健診医学会、東京、2011. 1. 28-29.
- ・ 根上昌子、丸田高広：ものわずれ検診における時計描写試験の有用性。第 20 回日本脳ドック学会、東京、2011. 6. 7-8.
- ・ 根上昌子、丸田高広、吉川弘明、足立由美、山本達、高橋英孝：ものわずれ検診における時計描画試験の有用性。第 52 回日本人間ドック学会学術大会、大阪、2011. 8. 25-26.

学会における貢献

- ・ 日本温泉気象医学会 認定医
- ・ 日本人間ドック学会 専門医
- ・ 日本禁煙学会会員
- ・ 日本総合健診医学会 専門医
- ・ 日本睡眠学会会員
- ・ 日本肥満学会会員
- ・ 日本産業衛生学会会員

学外講演

- ・ 2011. 9. 23 ピンクリボンプロジェクト in のと ラジオななおトークショー
- ・ 2011. 10. 24-26 北国新聞 こらむ 丈夫がいいね「タバコをやめる」

特許

- ・ 特許公開 2011-173794、特許出願 2010-036740、出願日 2010. 2. 23、出願者：金沢大学、発明者：角弘諭、根上昌子、丸田高広、吉川弘明、発明内容；アセチルコリン受容体クラスター形成阻害剤
- ・ 特許公開 2011-174707、特許出願 2010-036741、出願日 2010. 2. 23、出願者：金沢大学、発明者：角弘諭、根上昌子、丸田高広、吉川弘明、発明内容；心筋障害の検査方法
- ・ 特許公開 2011-189081、特許出願 2010-059913、出願日 2010. 3. 16、出願者：金沢大学、発明者：角弘諭、根上昌子、丸田高広、吉川弘明、発明内容；脳波表示装置、脳波表示方法、及びプログラム
- ・ 特許公開 2011-244971、特許出願 2010-119997、出願日 2010. 5. 26、出願者：金沢大学、発明者：角弘諭、根上昌子、丸田高広、吉川弘明、発明内容；レビー小体型認知症の判定方法、判定装置並びにプログラム

2. スポーツ教育部門

北浦 孝

学内委員会など

- ・ 共通教育「身体・スポーツ系」幹事
- ・ 体育施設管理運営ワーキンググループ、委員

学内での教育的活動

- ・ 「リフレッシュスポーツ・実技」(前期) 1コマ 15回/15週を担当
- ・ 「基礎トレーニング・実技」(前期) 1コマ 15回/15週を担当
- ・ 「ソフトボール・実技」(前期) 1コマ 15回/15週を担当
- ・ 「野外活動」前期集中(實學・村山合同開講) 1コマ 5回/15週を担当
- ・ 「スポーツ生命科学実験・ゼミ」(前期) 1コマ 15回/15週を担当
- ・ 「バスケットボール・実技」(後期) 2コマ 15回/15週を担当
- ・ 「Jog&Circuit トレーニング・実技」(後期) 1コマ 15回/15週を担当
- ・ 「パワートレーニング・演習」(後期) 1コマ 15回/15週を担当
- ・ アメリカンフットボール部 顧問
- ・ チア・リーダー部 顧問
- ・ アスレチックトレーナー部 顧問

学会発表

国内：共同 1

- ・ 第19回日本運動生理学会：シンポジウムI「遺伝子からみた骨格筋の運動能力への関わり」北浦 孝 (オーガナイザー)、於：徳島大学常三島キャンパス(徳島) 2011年8月25日(8/25~26)

海外：国際学会 主演者 1、共同 1

- ・ 58th American College of Sports Medicine 「Effects Of Clenbuterol Enantiomers On Muscles Of Male Rat.」 Takashi Kitaura, the Colorado Convention Center in Denver (Colorado), 2011年6月1日(5/31~6/3)
- ・ 58th American College of Sports Medicine 「Effect of Vitamin C Supplementation on Training-Induced Increase in Aerobic Capacity of Rat Skeletal Muscle.」 K.Yada, H.Matoba, and T.Kitaura. the Colorado Convention Center in Denver (Colorado), 2011年6月1日(5/31~6/3)

学会における貢献

- ・ アメリカスポーツ医学会 評議員 (Fellow)
- ・ 日本体力医学会 評議員
- ・ 日本生理学会 会員
- ・ 日本生物物理学会 会員
- ・ 日本薬理学会 会員
- ・ 日本生化学会 会員
- ・ 日本電気泳動学会 会員

研究助成等

- ・ 平成21-23年度科学研究費補助金(基盤研究(C))「ドーピング規制薬物(アドレナリン受容体作動薬)の影響における分子機構の解明」
- ・ 平成22年度渋谷学術文化スポーツ振興財団助成金「遺伝子多型と運動能力の関係についての研究」

論文・報告書等

(論文)

- ・ Kitaura Takashi Effects Of Clenbuterol Enantiomers On Muscles Of Male Rat. Med. Sci. Sports Exerc. (2011) 43(5), p. S287-288.

- ・ Yada K., Matoba H., and Kitaura T. Effect of Vitamin C Supplementation on Training-Induced Increase in Aerobic Capacity of Rat Skeletal Muscle. Med. Sci. Sports Exerc. (2011) 43(5), p.S299.

学外における社会貢献

- ・ 石川県アメリカンフットボール協会 理事長
- ・ 北陸アメリカンフットボール協会 副理事長

寶學 淳郎

学内委員会など

- ・ 共通教育「身体・スポーツグループ」幹事代表
- ・ 共通教育カリキュラム調整委員会委員
- ・ 共通教育委員会・共通教育特設プログラム（健康・自己管理）検討ワーキング・グループ委員

学内での教育的活動

(学部)

- ・ スポーツの歴史 (2011、前期) 15コマ/15を担当
- ・ 身体・スポーツ実技 サッカー (2011、前期) 2クラス、15コマ/15を担当
- ・ 身体・スポーツ実技 リフレッシュスポーツ (2011、前期) 15コマ/15を担当
- ・ 身体・スポーツ実技 野外活動 (2011、前期集中) 5コマ/15を担当
- ・ ゼミ/サッカー学 (2011、後期) 15コマ/15を担当
- ・ 身体・スポーツ実技 フットサル&サッカー (2011、後期) 2クラス、15コマ/15を担当

(大学院-教育学研究科)

- ・ 保健体育科教科内容特論 F (2011、前期) 15コマ/15を担当
- ・ 教育実践基礎研究 (2011、前期) 3コマ/15を担当
- ・ 課題研究 I (2011、前期) 15コマ/15を担当
- ・ 保健体育科教科内容研究演習 F (2011、後期) 15コマ/15を担当
- ・ 課題研究 II (2011、後期) 15コマ/15を担当

学会における貢献

- ・ 東北アジア体育・スポーツ史学会 日本支部理事 2011
- ・ 日本スポーツ産業学会 スポーツ産業史専門分科会事務局 2011
- ・ 日本体育学会 学会誌編集委員 2011
- ・ スポーツ史学会 会員

学会論文査読

- ・ 2011年度「体育史研究」 3編

論文・報告書等

- ・ 寶學淳郎、旧東ドイツスポーツ関係者 H.Hettrich 氏と k.Huhn へのインタビュー、平成 22 年度筑波大学体育史研究会、2011 年 2 月、茨城。
- ・ 寶學淳郎・成田十次郎・福島寿男・山本英作、共著 日本体育学会第 61 回大会（中京大学）体育史専門分科会シンポジウム報告「サッカーの伝播・受容を考える」、開催趣旨およびまとめ、体育史研究、第 28 巻、2011、33-65 頁。
- ・ 寶學淳郎、ドイツのスポーツ政策、文部科学省委託調査「スポーツ政策調査研究」報告書、2011、59-95 頁。

村山 孝之

学内委員会など

- ・ 体育施設管理運営ワーキング・グループ委員

学内での教育的活動

共通教育

- ・メンタルトレーニング 講義 (2011 年度前期) 1 コマ 15 回/15 週を担当
- ・身体と運動の心理学 講義 (2010 年度後期) 1 コマ 15 回/15 週を担当
- ・ゼミ/身体運動心理学 (2011 年度後期) 1 コマ 15 回/15 週を担当
- ・身体・スポーツ実技/ソフトテニス初級 (2011 年度前期) 1 コマ 15 回/15 週を担当
- ・身体・スポーツ実技/ソフトテニス中上級 (2011 年度前期) 1 コマ 15 回/15 週を担当
- ・身体・スポーツ実技/バドミントン (2010 年度後期) 2 コマ 15 回/15 週を担当
- ・身体・スポーツ実技/バドミントン (2011 年度前期) 1 コマ 15 回/15 週を担当
- ・身体・スポーツ実技/バドミントン (2011 年度後期) 2 コマ 15 回/15 週を担当
- ・身体・スポーツ実技/ソフトテニス&バドミントン(2010 年度後期) 1 コマ 15 回/15 週を担当
- ・身体・スポーツ実技/ソフトテニス&バドミントン(2011 年度後期) 1 コマ 15 回/15 週を担当
- ・身体・スポーツ実技/野外活動 (2011 年度集中講義) 1 コマ 担当

学域・学類 (人間社会学域地域創造学類)

- ・スポーツ心理学 講義 (2011 年度前期) 1 コマ 15 回/15 週を担当

大学院 (教育学研究科)

- ・保健体育科教科内容研究特論 E (2011 年度前期) 1 コマ 15 回/15 週を担当
- ・保健体育科教科内容研究演習 E (2010 年度後期) 1 コマ 15 回/15 週を担当
- ・保健体育科教科内容研究演習 E (2011 年度後期) 1 コマ 15 回/15 週を担当
- ・教育実践基礎研究 (2011 年度前期) 1 コマ 3 回/15 週を担当

課外活動

- ・ソフトテニス部顧問

学会における貢献

- ・日本スポーツ心理学会 会員
- ・国際スポーツ心理学会 会員
- ・北米スポーツ心理学会 会員
- ・日本体育学会 会員
- ・北陸体育学会 会員
- ・日本運動学習研究会 会員
- ・身体知研究会 会員
- ・平成 24 年度日本スポーツ心理学会第 39 回大会 事務局長

研究助成

- ・科学研究費補助金 若手研究 (B) 「「あがり」の発現機序の解明：運動スキルの閉鎖－開放次元に着目して」(2010～2012 年度)

論文・報告書等

(報告書)

- ・村山孝之 (2011) ビデオフィードバックで練習の質を向上させよう. 平成 22 年度科学的トレーニング特別強化事業報告書 (石川県教育委員会), p. 31.

(雑誌・記事)

- ・吉江路子, 田中美吏, 村山孝之, 工藤和俊, 関矢寛史 (2011) “あがり” とファインモーターコントロール. バイオメカニクス研究.
- ・村山孝之 (2011) あがり -注意の変化、元通りに. 北國新聞社編集局編健康 BOOK シリーズ 35 丈夫がいいね 備えあれば, pp. 12-13.

学外講演

- ・ 2011.6.25 平成23年度第1回石川県スポーツトレーナー連絡協議会認定スポーツトレーナー養成講習会「スポーツ心理学」講師
- ・ 2011.2.12 プラッツうちなだ指導者・会員講習会 「メンタルトレーニング」講師
- ・ 2011.2.6 石川県アーチェリー協会指導者研修会「運動指導のためのスポーツ心理学」講師

学外における社会貢献活動

- ・ 石川県教育委員会「科学的トレーニング特別強化事業」科学的トレーニング専門グループ委員（2009～）
- ・ 財団法人 北陸体力科学研究所 評議員（2010～）
- ・ 北陸大学 非常勤講師（2010～）
- ・ 北陸学生ソフトテニス連盟会長（2010～）